

# 呉市地域公共交通協議会

平成20年3月19日設置  
平成21年3月10日連携計画策定



## 概要

周辺8町との合併による生活圏域の拡大や高齢化の進行等に伴い、呉市における市民の移動ニーズは大きく変化しつつある。こうした中で、呉市の公共交通のうち、幹線となるJR呉線や呉市営バス等の路線と、これを補完する循環バスや合併町における生活バス(みなし4条)、さらには生活航路や離島航路といった支線となる路線の役割分担を明確化し、市民ニーズに応じた移動サービスをより効率的かつ効果的に展開していくことは、呉市における今後の大きな課題となっている。

これらの課題解決のための各種事業のうち、本年度事業としては、特に緊急度の高いものとして「倉橋地区におけるバス路線網の再編事業」及び「音戸渡船の維持・支援事業」を予定している。

### ○倉橋地区におけるバス路線網の再編

幹線となる呉市営バス路線と、旧町時代から引き継ぐ生活バス3路線(みなし4条)とが混在する倉橋地区において、重複部分の解消など双方の路線を見直すとともに、合理的な乗継ぎ拠点を設置するなどにより、効率的かつ持続可能なバス運行形態の確立を図る。また生活バス路線の一部については、デマンド運行化を予定している。

(想定事業案)

- ・市営バス路線の一部路線短縮(一部廃止)を行う。
- ・生活バス3路線を4路線化し、うち1路線(右図D)のデマンド化を図る。
- ・乗継ぎ拠点の整備・集中化による乗り換え・乗継ぎの効率化を図る。

### ○音戸渡船の維持・支援

300年もの歴史を有するとされ、周辺住民の日常生活に欠かせない公共交通機関でありながらも、近年では存続すら危ぶまれる状況となっている音戸渡船について、今後のあるべき姿を明確化するとともに、当面の維持・支援策の検討と事業化を図っていく。本年度については、広報・周知策やイベントとの連携等、利用促進策を中心とした事業を、地元まちづくり協議会が主体となって進めていく予定。

(想定事業案)

- ・今後のあるべき姿についての検討を行う。
- ・周知・広報のためのホームページを作成する。
- ・周知・広報用の記念品、バスとの乗継ぎマップや記念キップ等の企画作成を行う。

